

7. 「36の基本的な動き」を取り入れた 幼児の運動プログラム開発・普及委員会

1. 趣旨

- (1) 「遊んで身に付く36の基本的な動きvol1」を利用し、「36の基本的な動きを取り入れた幼児の運動プログラム」を花山青少年自然の家のフィールドで開発し、公立保育園・公立幼稚園で試行実施を行う。
- (2) 公立青少年教育施設と共に「36の基本的な動きを取り入れた幼児の体験活動推進委員会」(外部委員5名・内部3名)を立ち上げ、花山青少年自然の家で開発した「36の基本的な動きを取り入れた幼児の運動プログラム」を花山青少年自然の家及び県内・近県の公立青少年教育施設において幼児・親子に普及する。

2. 委員会名 「幼児の体験活動推進委員会

～幼児の運動プログラム普及事業～

3. 推進委員

宮城県志津川自然の家	主任主査	森 美紀子
宮城県松島自然の家	所長	狩野 秀之
宮城県蔵王自然の家	主査	黒須 美恵
山形県神室少年自然の家	研修主事	福澤 徹
青森県梵珠少年自然の家	社会教育主事	佐藤 元伸
国立花山青少年自然の家	所長	松村 純子
//	企画指導専門職	奥山 洋
//	企画指導専門職	島貫 織江

4. 内容

	日 時	内 容
第1回	平成28年 10月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「遊んで身に付く36の基本的な動き(室内版)」の活動視察 試行実践園 涌津保育園 ・協議 <ul style="list-style-type: none"> ①試行事業を視察しての意見交換 ②9・10月に行った幼児対象事業についての情報交換 ③各施設での「遊んで身に付く36の基本的な動き」の導入について
第2回	平成29年 2月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・協議 <ul style="list-style-type: none"> ①平成28年度「遊んで身に付く36の基本的な動き」の活用状況について ②平成29年度「遊んで身に付く36の基本的な動き」の実施について ③来年度の推進委員会の予定について

5. 委員からの意見

(1) 第1回 試行事業を視察して

- ・場の楽しさがあり、設定は良いと思う。小学校の体作り運動に繋がるので、是非取り入れていきたい。
- ・先生と一緒に回る→自由に回る。こういう視点で組み合わせると言うことがわかった。
- ・全ての活動を体験してから、自由に遊ぶという体験がよい。
- ・子ども達の遊びの発想の豊かさを感じた。
- ・子ども同士の声かけ、ちょっとヒントを与えるだけで遊びが広がる。
- ・サーキットの周り方は効果的だと思う。
- ・ひっぱり相撲は、勝負があるので人気だが、安全面やどこで「やめ」と声をかけるか等大人の見守り方が大事。
- ・道具がカラフルで子どもの視覚に訴え、楽しさが伝わる。
- ・1本橋では、遊びのアレンジが生まれた。

(2) 第2回 平成29年度「遊んで身に付く36の基本的な動き」の実施について

- ・親子キャンプ、めんごキャンプなどの幼児対象の主催事業の中に「36の動き」を取り入れた活動を計画したい。また、当所を利用する幼稚園、保育所、子ども会などが「36の動き」を自主活動で生かしていけるよう、ガイドセミナーの場で紹介していきたい。
- ・今年度は、実施することができなかったが、次年度は未就学児対象事業での実施を検討していきたいと考えている。
- ・幼児を対象とした事業が少なく、その中でどのように取り入れていけるか検討中。
- ・平成29年度に実施する主催事業「年長すくすくキャンプ」のプログラムの中で実施を考えている。
- ・試行実施を終え、平成29年度は、本格実施をする予定。



試行実践園 涌津保育園